

マルシェ大原野  
お買い物券  
有効期限  
令和2年3月31日  
切りはなし無効  
ナチュラルライフを持ってマルシェにお越しください！

¥100

売り切れ次第終了

毎週火曜日と、第1・第3土曜日は、マルシェ大原野の日

大原野の野菜・加工品の販売のマルシェ大原野は地域住民が中心となって運営されています。

マイバックを  
ご持参ください

300円  
※お支払いは現金・クレジットカード  
※お支払いは現金・クレジットカード

京都らしくさい  
マルシェ大原野



今月は引き続き、人参・白菜・小芋など \*気候により出荷できない場合があります

大根・水菜・壬生菜・お味噌がおいしい季節です！

冬の野菜が充実しマルシェが賑わう季節です。春菊や壬生菜は、おひたしに最適です。煮込み料理やお漬物の素材もたくさん。

開催日カレンダー

2月 1土 4火 11火 15土 18火 25火  
3月 3火 7土 10火 17火 21土 24火 31火

京都・西山  
大原野ブランド



毎週金曜日は阪急洛西口（トート阪急）で大原野産野菜を直売中！  
「西山の恵み」 14:00-19:00 \*お買物券はマルシェ大原野のみ使用できます



会場 京都市西京区大原野灰方町179  
(JA京都中央大原野支店前)  
主催/大原野農産物等直売所運営協議会

おの話し

家や手仕事について小野がつぶやきます



2000年に全国で64万人いた大工さんが2020年には23万人となりました。木の家を建てている弊社に於きましても大工さんは貴重な財産です。  
弊社では大工見習のハツ賀君20歳と山口君21歳の二人の若手が毎日頑張ってくれています。昔は雑用、掃除等の見習い期間を経てからの大工作业でしたが、現在は入社してすぐに大工道具を持ち現場に入ってもらいます。結果的には大工作业を速やかに会得して、短期間で貢献してくれるようになりました。  
来年には1人で新築1件を完成する目標をもって頑張ってくれています、その際はまた皆様にお伝えさせていただきます。皆様にも弊社の現場がある際、覗いていただき彼らに応援の声もかけていただければ嬉しいです。

京都市西京区で土地をお探しなら…  
不動産ページにお越しください

京都市西京区の土地・新築住宅・中古住宅・中古マンションまで  
不動産物件探しは小野建築設計不動産事業部におまかせください。  
また所有している不動産物件の売却、査定など不動産に関する事も  
ご相談をお待ちしております！



簡単な会員登録で  
343件\*もの物件が  
ご紹介可能です！  
\*2020年1月現在



https://www.ono-f.com/

小野建築設計不動産

ナチュラルライフ 株式会社小野建築設計

建設業許可: 京都府知事 (特-27) 第33008号 宅地建物取引業者票: 京都府知事 (3) 第012179号  
建築士事務所登録番号: 二級建築士事務所 京都府知事登録 (24B) 第01678号

〒610-1123 京都市西京区大原野上里南ノ町10番地

TEL 075-335-2254

のんびり暮らしの家  
nonbiri\_gurashi



ナチュラルライフ vol.170 2020年2月1日発行 発行/株式会社小野建築設計

オフィシャルサイトで  
イベントの詳細を案内中!

http://www.ono-k.com

小野建築設計 検索



ホームページ  
QRコード  
便利です!



NATURAL LIFE

小野建築設計の地域情報レター  
ナチュラルライフ

2020年 2月号

大原野上羽町のハウスでハーブや観賞用の植物を栽培されているIS BOTANICA (アイエスポタニカ) さん。  
この地域で14年ほど農業を続けられ、今では5人のスタッフと協力しながら800坪のハウスを切り盛りしています。  
お話を聞いていると伝わってくるハーブ栽培への情熱。行動に移されるエネルギーが素敵なお縁を繋いでくれました。代表の石原麻美子さんの活動をご紹介します。

IS BOTANICA (アイエス ポタニカ)  
herb・wildflower nursery

ハーブの持つ力に惹かれて

アロマセラピーやハーブについて深く知りたい。と7年程務めたホテルの仕事を辞めて情報を集め始めました。当時はインターネットも普及しておらず、雑誌や本を調べ気になるお店に手紙を送られたそう。福島県でハーブに特化した農業生産法人と出会い、その観光農地で5年間を苗の生産をはじめ直営のレストランや加工、販売など一貫した業態を経験。当時はガーデニングブームでとても活気があったとか。その中でハーブの植物を育てることに興味を持つようになりました。「愛でるだけではなく、触って食べて香る。五感を刺激してくれて生活の中で利用できる植物」そんなところに魅力を感じると言います。



▲秋から冬にかけて花の種類が少なくなるシーズンに大活躍のシクラメン。地域で育った花はその土地の気候に順応してくれます。

大変なものに作り甲斐を感じる

200種類のハーブとシクラメンを主に、東京や大阪の園芸店や無印良品に卸しています。中でも涼しい地域で栽培されているシクラメンは京都の多湿な気候では育てにくく、昨年の猛暑も4000鉢が駄目になったそう。それでも育てられている理由を聞くと、植物はその土地の気候に合わせて順応してくれると言います。「お客さんからも丈夫だと言ってもらえます」もともと多湿な気候で育っているので、同じ気候の土地に迎え入れても枯れにくいのだそう。植物のもつ強さや応えてくれるところに作り甲斐を感じています。と話してくださいました。



▲ハウスと石原さん。中ではたくさん種類のハーブが真冬でも元気に育つ。  
昔から人々との暮らしに寄り添ってきた植物たち。お湯に入れて飲んだり、料理に入れたり、お風呂に浮かせたり気軽に楽しんで話す。



地域の人の協力とご縁が繋がり

家族の介護があり、洛西ニュータウンに戻った石原さん。「この地域で本格的にハウスでハーブの仕事をやりたい」と、大原野を歩いていたところ、灰方町でハウス栽培をされている農事組合法人花トピア大原野を見かけ、思い切って声をかけられたそう。突然の申し出にも関わらず、快く空いていたハウスを貸してくれた花トピア大原野の畑さん。その後も石原さんのハウス栽培ができる土地探しと一緒に行政に掛け合ってくれました。やっと理想のハウスに出会えたのは3年後の事。上羽町に使われていない土地を紹介され、1年かけてかなり傷んでいたハウスを貼り直し事業をスタート。「もう勢いで進めました」と大変だった当手を振り返ります。

▶西山をバックにハウスが見えます。

